

Grand Toit News

vol. 71
Autumn 2022



Grant News

企画展紹介 「豊富な資料を元に1910-30年代のデザインを見つめ直す」

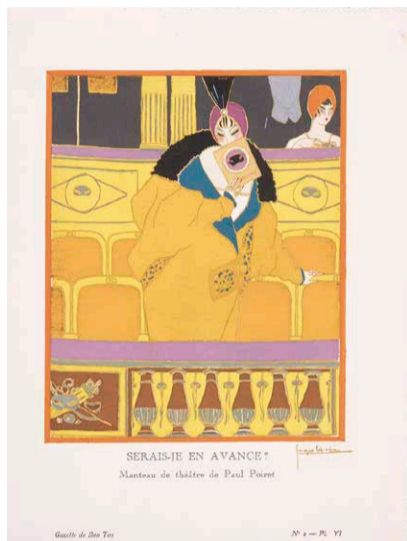
劇場事業紹介 「祝！令和3年度島根県文化奨励賞受賞 Grant 弦楽合奏団」

●特集 Grant 開館17周年企画 「きんさい! Grant」

●「もうすぐ出番です！」 佐々木 望 (声優)

●リレーでコラム ほか

文化芸術の秋
Grantへ遊びにいこう!



ジョルジュ・ルパップ
「早かったかしら?ポール・ボワレの劇場用コート」
『ガゼット・デュ・ボン・トン』1912年 No.2
島根県立石見美術館
©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4718

ポワレやランヴァン、シャネルのドレスから、ウィーン工房の食器や家具、ル・コルビュジエの壁紙、ミース・ファン・デル・ローエの椅子などを一堂に。

豊富な資料を元に1910-30年代のデザインを見つめ直す



ロジャー・マールティネス
絵付:アトリエ・マルティネス
《香水瓶「本物のオー・デ・コロロン」》
1912年頃 海の見える社美術館

が、実は装飾的な造形や考え方が「モダンデザイン」の拡がり一役買っていました。また、装飾と機能は相反するものと考えられがちですが、実際は相対的なものでもあり、比較対象を何とするか、あるいは時代の変化によって、機能的と思われていたデザインも装飾的なものと受け止められるなどしていました。

そうなのですね。具体的な事例をご紹介いただけますか?

当館ではおなじみのフランス人ファッションデザイナー、ポール・ボワレは、女性の衣服から

コルセットを取り払ったデザイナーとしてよく知られています。1908年頃には、コルセットなしで着られるドレスを発表していました。ものの機能美は不要な要素を取り払うことから始まるとすれば、ポワレのドレスは大変「機能的」で、それまでのドレスに比べると簡素でもありました。しかし時代が下り、シャネルなどが活躍するようになると、彼のデザインは「装飾的」なものの代表として捉えられるようになります。かといってシャネルが「機能的」なデザインばかりを生み出していたかといえばそうではないのです。

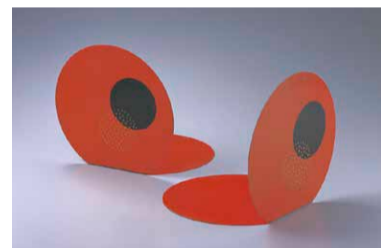
展覧会ではこれまで装飾的/機能的とそれぞれに分断されて紹介されてきたもの同士のつながりを明らかにし、またアーティスト同士のジャンルを超えた繋がりや協働にも注目し、この時代のデザインのダイナミックな動きを体感いただけたらと思っています。

なるほど、面白いですね。かなり壮大で、色々なものが見られそうですが、具体的にはどんな作品が並ぶのでしょうか。

ドレスや椅子などの家具、食器、服やインテリアに使われた布(テキスタイル)、デザイン画

や制作ノート、建築やその室内を撮影した当時の写真、雑誌や版画など、400点あまりを展示します。有名家具や工芸のジャンルで紹介されてきた作品、これまでほとんど知られてこなかった作家のデザイン画などが一堂に会する展示室は、賑やかなものになることが想像されます。ファッションやインテリアがお好きな方には特に楽しんでいただける内容ではないでしょうか。

※3ページ「わたしのおすすめ」でも展示作品を紹介しています。



マリヤネ・プラント《ブラックエンド》
1930-32年 宇都宮美術館



マルセル・ブローヤール《クラブチェアB3(ヴァシリー)》
1925年 豊田市美術館

企画展「交歓するモダン 機能と装飾のポリフォニー」展について、担当学芸員の廣田理紗さんにうかがいました。

久しぶりの大々的なデザインの展覧会とうかがいました。展覧会の特徴を教えてください。

1910-30年代のフランス、ドイツ、オーストリアを中心とした建築や室内装飾、ファッション、インテリア、グラフィックなど、異なるジャンルのデザインを横断的に見つめ直す展覧会です。また、同時代の日本の状況にも目を配ります。これまで当館ではいくつかデザインに関する展覧会を開催してきましたが、そ

の多くがファッションやグラフィックデザインを中心にしたものでした。今回はそれらに加え、服が着られた生活空間そのものや、そこに置かれた家具や食器、あるいは服やインテリアが販売されたお店のしつらえ、そして当時の美術やデザインの考え方もご紹介します。

表面的な装飾を廃した機能的・直線的な造形を特徴とする「モダンデザイン」の起点として語られることの多いこの時代です

観覧料
当日券 一般1,200円(950)|大学生600円(450)
小中高生300円(250)
前売券 一般1,000円|大学生500円|小中高生200円

* ()内は20名以上の団体料金
未就学児無料
* 小中高生の学校利用は入場無料
* 各種障がい者手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方およびその介助者は1名まで入場無料
* 前売券は、ローソン各店(Lコード63398)、Grant 総合受付カウンターでお求めになれます。

主催: 島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、中国新聞社、日本海テレビ
特別協力: 東京国立近代美術館、東京藝術大学、ミサワホーム株式会社
協力: 日本航空、ヤマト運輸株式会社 後援: 芸術文化とふれあう協議会
助成: 一般財団法人地域創造

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、関連プログラムは定員を減らす場合があります。また、美術館の入館の際はマスクの着用、入室前の検温、緊急連絡先の記入などをお願いしております。
施設の開館状況、展覧会の会期、関連プログラムなどが変更・中止となる可能性があります。
ご来館の前には、当館ホームページにて最新の情報をご確認ください。

ガブリエル・シャネル《イヴニングドレス》1925年 | 島根県立石見美術館

島根県立石見美術館
(島根県芸術文化センター「Grant」内)

交歓するモダン 機能と装飾の ポリフォニー

Modern Synchronized and Stimulated Each Other
The Polyphony of Function and Decoration

2022年9月17日(土) - 11月28日(月)
会期中一部展示替えあり | 前期: 10月24日まで、後期: 10月26日から
開館時間 | 9:30-18:00 | 展示室への入場は17:30まで
休館日 | 火曜日

スペシャルギャラリートーク

本展を企画した豊田市美術館と当館の担当学芸員が展覧会の見どころを楽しくご紹介します。

9月17日(土) 14:00 - (展示室D入り口前集合)
申込不要 / 先着30名 / 参加無料 (展覧会観覧券またはミュージアムパスポートが必要)

ドレスコードでプレゼント

金色か銀色のアイテム(アクセサリー類は除く)を身につけてご来場の方に展覧会オリジナルグッズをプレゼント!
会期中の土・日・祝日(ただし10月8・9・10日の3日間をのぞく)
各日先着 20名

MUSEUM X THEATER ミュージア vol.18

音楽会「古典調律で奏でる音楽」

1910-30年頃、アーティストたちが耳にしていた音楽に想いをはせるコンサートです。

9月23日(金・祝) 13:30開演(13:00開場)

第1部 古典調律聴き比べ: レクチャーコンサート

第2部 ピアノとヴァイオリンの協奏

会場 島根県芸術文化センター「Grant」スタジオ1

出演 歌島昌智(ピアノ)、辺見康孝(ヴァイオリン)、日野博(ピアノ調律)

チケット料金 前売 一般1,500円 / 会員1,000円

当日 一般2,000円 / 会員1,500円

* 全席自由・定員50名。* 中学生以下無料

* 詳細は当館ホームページをご確認ください。

敬老週間

9月17日(土) - 23日(金・祝)

上記の期間65歳以上の方(年内に65歳を迎える方も含む)は観覧料無料。年齢を確認できるものを持参ください。

関連プログラム



祝! 令和3年度 島根県文化奨励賞受賞 Grantow弦楽合奏団

2009年11月に設立され、Grantowを拠点として活動する島根県西部地域唯一の弦楽合奏団体「Grantow弦楽合奏団」が、令和3年度の島根県文化奨励賞を受賞しました。設立から13年、これまでの歩みと取り組みを振り返ります。

これまでの活動を振り返って

ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、4つの弦楽器愛好家が所属するGrantow弦楽合奏団は結成して13年が経ちます。第1回目の記念すべきコンサートはGrantow美術館ロビーを会場に当時約10名の団員が演奏を披露しました。団員の数は徐々に増え今では20名を超える合奏団となり結成後、島根県西部を中心にホールだけでなく、さまざまな美術館や体育館などでの演奏活動を続けてきました。しかし、ここ数年続いていた定期演奏会も2020年からは新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止になるなど、苦勞の多い数年でした。演奏会が思うように出来ない日が続く中ではあり

ましたが、昨年の悠邑ふるさと会館でのオータムコンサートでは130名のお客様にお越しいただき久しぶりの大きな会場での公演にお客様からも嬉しいお言葉をいただき、団員一同演奏する楽しさや喜びを改めて実感する事が出来ました。

これからGrantow弦楽合奏団として目指す目標

「令和3年度島根県文化奨励賞」を受賞できた理由の一つは、コンサート活動だけでなく楽器体験など、弦楽器を身近に感じてもらう活動を高く評価されたからだと考えています。楽器体験には子供たちがたくさん来てくれますが、思った以上に大人の方の参加も多く、毎回大盛況

となります。現在は新型コロナウイルス感染症拡大の影響があるため自粛しておりますが、いつかは再開し、以前のようにたくさんの方に体験していただきたいと思っています。楽器体験をきっかけに、いずれ私たちと同じステージに立ち、仲間になってくれる人が現れることを願っています。今後の目標としては、コンサートに来ていただいたお客様に楽しんでいただけるようなステージ作りを心掛けていきたいと思ひます。弦楽合奏なんて敷居が高い…なんて思わず、気軽に来ていただけるコンサート作りと、来場されたお客様が「聴きにきてよかった」と思えるコンサートを目指し、これからも頑張っていきたいと思ひます。



授賞式の様子



しまね海洋館アクアスにてクリスマスコンサート



悠邑ふるさと会館にてオータムコンサート

LIFE with Grantow

白い芸術

全国の映画館を知っている人が言った「小野沢シネマのような天井の高い映画館が残ってるのは奇跡ですね」と。その言葉を聞いて頭によぎったのはGrantowのことだ。

数々の美術館を訪れたが、Grantowのような多機能で天井高のある美術館は珍しい。作品によっては高さがないと表現できない領域がある。とは言え全ての作品が天井高に

負けないくらい迫力があるわけではない。そして迫力がなければ芸術性が薄いというわけでもない。お客様にそんな繊細な部分を感じさせないよう工夫して展示をしてくれているのはGrantowのスタッフの方々だ。どのように置き、光をどのように当てるべきか。そこには作品の魅力を感じてもらいたいという願いが横たわっている。

映画館にも同じことが言えるだろう。だからこそ同じ芸術を取り扱う立場の私からもGrantowに敬意と感謝を伝えたい。

[Shimane Cinema Onozawa 支配人 和田浩章]

PICK UP EVENT



島根県無形民俗文化財「益田糸操り人形 隠岐公演」
2022年10月29日(土)
15:30~17:30
(15:00開場)【予定】
隠岐島文化会館
(隠岐郡隠岐の島町)

島根県の無形民俗文化財である「益田糸操り人形」の公演を、隠岐の島で開催します。演目は、『傾城阿波の鳴門 巡礼歌の段』と『三十三間堂 棟木之由来 平太郎住家の段』です。益田市で長年受け継がれてきた伝統芸能を、この機会に是非ご覧ください。

※料金、定員、プレイガイドなど、詳しくはGrantowホームページをご覧ください。

劇・場・を・探・る



【つかみ金具】

合唱や吹奏楽の演奏会、神楽の楽台など、舞台上に組まれている台を見たことはありませんか？今回お話しする「つかみ金具」とは、その台を組むときに使用する台（平台）同士や、けこみ（平台の前を隠すもの）を留めるコの字の金具のことを言います。我々、舞台スタッフは「つかみ」と呼んでいます。

次回は「音源」です。



POSTER GALLERY 2016▶2021

いわみ芸術劇場
公演ポスターギャラリー

3 vol.

Grantowが開館した2005年10月から現在まで、いわみ芸術劇場では、コンサート、オペラ、合唱、ミュージカル、演劇、ダンスなど、さまざまな公演が開催されました。これまで行われた公演のポスターをご紹介します。

※すべてのポスターは掲載していません。ご了承ください。

グラントワ開館17周年企画 「きんさい! グラントワ」

グラントワが開館した2005年10月8日に合わせ、毎年10月上旬の日曜日に開催してきた「きんさいデー」。コロナ禍にも配慮しながら、最大限、皆様に感謝の気持ちをお届けするため、今年是一日限りの開催ではなく、少し形を変えて「きんさい! グラントワ」として開催します。

行ってきんさい食堂

一昨年ご好評をいただいた、市内の飲食店を巡る「行ってきんさい食堂」が今年も復活! イベント期間中に参加店舗をご利用いただくと、ご利用人数に応じてお得な「特典引換券」をお渡しします。3枚集めると、石見美術館の入館料がなんと無料に。石見地方の個性豊かなお店をこの機会にぜひ巡ってみてください。

石見美術館・先着プレゼント

グラントワは遠くて、なかなか市内のお店を巡るのは難しい、という方に朗報です。開館記念日の10月8日(土)から10日(月・祝)までの3連休に石見美術館に来館されたお客様には、この日のために特別にご用意した先着プレゼントがあります。プレゼントの中身は当日のお楽しみ! この3日間はぜひお時間お早目に来館ください。

会員限定イベント・射的

グラントワ会員の皆様には毎年お馴染みの会員福引。これまでではガラポン抽選機を回していただいておりますが、今年は「射的」に変えてイベントを楽しんでいただきます。おひとり3発まで打つことができますよ。的を狙って、ご自分の力で豪華賞品をゲットしてくださいね。なお、当日ご入会いただいた方もご参加いただけますので、この機会にぜひご入会ください。

(参加される方は必ずグラントワ会員証をご提示ください。)



ほかにもミニコンサートや子ども向け無料映画上映会も開催予定です。地元店舗にご協力いただき町ごと楽しんでもらう内容を中心とした特別企画「きんさい! グラントワ」は、10月8日(土)から秋の企画展が閉幕する11月28日(月)にかけて開催します。ぜひグラントワへ遊びにきんさい※!

※「きんさい」は石見地方の方言で「いらっしゃい」の意です。

もうすぐ!
出番です!



佐々木望 (声優)

グラントワとはフランス語で「大きな屋根」のことなのです。石見伝統の石州瓦が堂々と葺かれた赤い大きな屋根の下、敬愛する作家・森鷗外の作品を朗読させていただきますことを光栄に思います。

今回メインとなる作品「文づかい」は、『鷗外ドイツ三部作』の一篇です。「ふみづかい」とは手紙を届ける使いのこと。

ドレスデンの上流社会を舞台に、日本人士官と伯爵の娘との、なんとなく謎めいた感じの物語です。

この作品は、明治期までの文体の主流であった文語体で書かれています。美しく格調高い、書き言葉の日本語です。ひとりで読書するならじっくりゆっくり味わえる文語体ですが、さて、ひとさまにお聴かせする朗読となるとちょっとむずかしくなってきます。漢字もかなづかいも現代の私たちの言葉とは相当に異なる文語体の文章を、お客さまが耳で聴いて自然に作品の世界に入っていただけるように。そして、鷗外の流麗で力強いリズムまでも活かせるように。

どのように声を出し、演じ、工夫すればよいだろう。声の表現者としては課題がいっぱいです。でも、それが楽しいのです。

佐々木望 SASAKI NOZOMU
アニメ『幽☆遊☆白書』幽助、『AKIRA』鉄雄など多くの作品で主要キャラクターを担当。独特の存在感がある声で幅広い役柄を演じる。舞台、オーディオブックでの朗読も好評価。



グラントワ開館17周年企画「きんさい! グラントワ」
2022年10月8日(土)～11月28日(月)
※詳しい内容は、グラントワHP等でお知らせします。

みさき 美術館に よいて

コレクション展
「没後100年記念
森鷗外とゆかりの
画家たち」
11月23日(水・祝)
～2023年1月29日(日)
会場:展示室A

藤島武二『西洋婦人像』
1908～09(明治41～42)年頃
当館蔵



コレクション展「没後100年記念 森鷗外とゆかりの画家たち」について、担当学芸員の川西由里さんにきいてみました。

Q1. 「森鷗外とゆかり」というのはどんな人たちですか?

石見出身の鷗外が美術と深く関わるようになったきっかけは、留学先のミュンヘンで知り合い生涯の友となった洋画家・原田直次郎との出会いです。帰国後、原田の仲間を中心に美術界での交際の輪が広がりました。また、美術評論の発表などによって有識者とみなされた鷗外は、文部省美術展の審査員など重要な役職も務めました。こうした場で知り合った画家もいます。

Q2. どんな作品が見られますか?

黒田清輝、藤島武二、大下藤次郎、藤田嗣治など近代日本洋画界の大御所がそろって、当館コレクションのオールスター展のようなものになります! あわせて画家たちが装幀した鷗外の著書も展示します。

The 石見美術館 わたしのおすすめ Collection

主任学芸員 廣田理紗

マンゴーやイチゴ、ぶどう、そして花や麦、植物の葉、鳥などたくさんのモチーフが印刷されたこのテキスタイル(布地)は、画家のラウル・デュフィの作品です。太い糸を使って織られた厚手の「キャンバス地」と呼ばれる布に、賑やかな図柄があらわられた本作は、椅子の張り地やカーテンとして使われ、人気を博したことが知られています。一枚の大きな布に図柄を印刷することはできず、ひとかたまり



ラウル・デュフィ
《テキスタイル
「ヨーロッパの果物」》
1912年 当館蔵

の図案を繰り返して完成させます。本作を見てみると、色が濃く出るぶどうの横には明るい葉や小さなイチゴが置かれ、あるいは飛ぶ鳥の色や向きが変えられて、おなじ図柄を繰り返しても布全体として見たときにつまらなくならぬように、むしろ面白く見続けられるように、工夫が凝らされているのがわかります。

グラントワ弦楽合奏団
AUTUMN CONCERT
オータムコンサート
2022年10月23日(日)
江津市総合市民センター
(ミルキーウェイホール)大ホール

令和3年度島根県文化奨励賞を受賞し、活動も益々の盛り上がりを見せているグラントワ弦楽合奏団。今年のオータムコンサートは、江津市の総合市民センターで開催! 皆様のご来場をお待ちしております。

入場料[全席自由]無料
時間、申込方法等、詳しくはグラントワHP等をご覧ください。

オペラ
森は生きている
オペラシアターこんやく座公演
2022
12.4日 石見文化ホール 大ホール
開場14:30/開演15:00

入場料 [前売]一般3,000円 大学生以下2,000円 [全席自由・税込] [当日]一般3,500円 大学生以下2,500円
※3歳以下観覧無料(ただしお席が必要な場合は有料) ※大学生以下の方は当日学生証をお持ちください。

大晦日の日、わがままな女王の気まぐれで4月に咲くマツユキ草を探しに森へ入ったむすめは1月から12月までの(月の精)に出会い…。日本語オペラの名手・オペラシアターこんやく座による「森は生きている」は今を生きている私たちにあなたかな贈り物をくれます。初めてのオペラにもおススメ。
ピアノ:寺嶋隆也

10月8日(土) チケット発売

石見美術館コレクション展

コレクション展
没後100年記念
森鷗外とゆかりの画家たち
11月23日(水・祝)～2023年1月29日(日)
2022年が森鷗外の没後100年、生誕160年にあたることを記念し、所蔵作品から鷗外と交友のあった画家たちの作品を紹介します。
※「美術館にきてみよう」参照

MUSEUM THEATER Vol.19
「森鷗外没後100年記念
朗読の夕べ 文学と美術のあわいに」
2022年11月26日(土) 開演18:30
出演:佐々木望 会場:展示室A 料金:2,000円(会員1,800円)
森鷗外「文づかい」の朗読と、鷗外と画家たちをめぐるお話(詳しい内容は後日、グラントワHP等でお知らせします)
※「もうすぐ出番です」参照

展示室A

コレクション展
ラウル・デュフィ
11月3日(水・祝)～12月19日(月)
企画展にあわせ、フランスの画家で、テキスタイルデザインも手がけたラウル・デュフィの作品を特集して展示します。ポワレの導きで始めたテキスタイルの仕事をはじめ、絵画、イラストレーション、広告などにより、その多彩な表現をお楽しみください。
※「The Collection わたしのおすすめ」参照

展示室B

展示室Cはメンテナンスのため、11月29日(火)～2023年2月3日(金)まで閉室します。

・展示されている作品はすべて時間と共に移ろい変化するもので、絵画美術を鑑賞するのは異なる体験をした。展示されている作品数が少ないゆえにそれぞれの作品が強く印象に残った。(益田市・40代/企画展「平川紀道・野村康生 既知の宇宙|未知なる日常」)
・ブリンク・ブランク・ブランクは初めて聴く曲でしたが、疾走感のあるかわいい曲で、子供も前のめりで聴いていました!(浜田市・30代/「グラントワ弦楽合奏団 スプリングコンサート」)
・ノリノリでとても楽しめました!! またぜひ音あそびを企画してください!! (益田市・20代/いつでもどこでも音楽祭「わくわく音あそび」)

Grand Toit & リレーでコラム 5

田尻直子 (いわみ芸術劇場舞台技術振興課長)

毎号、職員がコラムで繋ぐ「リレーでコラム」。
第5回は、舞台技術振興課長・田尻直子さんです。

私は劇場の舞台技術を担当する部署で勤務しております。グラントワで勤務し始めて3年目に入りました。

舞台技術に関わる仕事を始めて20年以上経ちましたが、ここ2年の劇場を取り巻く状況はこれまで経験したことのないものでした。劇場で行われるお芝居やコンサートは、演者だけでなく技術スタッフ、制作スタッフなど多くの裏方、そして何より劇場に来てくださるお客様と一緒に時間・空間を共有することに魅力があります。この静かな期間に、これまで当たり前のように感じていたことを改めて実感しています。

グラントワでは、昨年11月より大・小ホールの耐震改修工事が行われています。この工事は開館以来初めての長期ホール休館を伴うものです。現在大小ホールの天井、舞台

照明、音響設備はじめ各所で工事が行われています。工事にあって過去の資料や図面を調べる機会があるのですが、これまで関わってきた方々の建物や地域に対する愛情、随所の工夫を感じているところです。ホール休館が長く、ご不便をおかけしていますが、これまで成人式や発表会、遠足など地域の方々の思い出に残る場所になってきたグラントワ。今後みなさんとともに歩いていけるよう、しばらくの健康診断期間だと思ってください。来年5月からは再び舞台での感動を感じてもらえるよう、私たちも準備を進めています。



いわみ芸術劇場大ホール

今回は川西由里さん(石見美術館専門学芸員)の予定です。

報告します!

ミュージア vol.17
コンサート「夢二の見た夢、その淡い」を開催しました。



当日の様子

新たなアートパフォーマンスを創造・発信する劇場と美術館の共同企画「ミュージア」。今回は企画展「竹久夢二と乙女たち」にあわせ、ソプラノ・吉川真澄さんとピアノ・水戸見弥子さんによる歌曲のコンサートを開催しました。

演奏したのは夢二が表紙を手がけた「セノオ楽譜」より、夢二作詞の歌として有名な「宵待草」のほか「夢に見る君」「アヴェ・マリア」などのドイツ歌曲。また、詩人でもあった夢二の詩に、この企画のために新たに書き下された9つの組曲「ゆめぢのうた」(作曲:平野一郎氏)を披露。竹久夢二の世界を展覧会とともに音楽でもご堪能いただきました!

参加者の感想

生演奏を身近に聴け、大満足・大感動! 夢二の世界に浸り楽しめました。(益田市・80代)
ゴンドラの唄は印象的だった。時代を感じました。(益田市・60代)

ダンサーと踊る
グラントワスペシャル版!
「ダンスワークショップ」



当日の様子

自分の身体と向き合いながらダンスに触れる楽しさをプロのダンサーと一緒に実践するダンスワークショップを開催。前半はゲーム感覚で身体を動かして後半ではスタジオ1を飛び出しグラントワ中を踊り回る動画を撮影しました。約15名の参加者とダンサーで作上げたグラントワスペシャル版PVの完成をお楽しみに!

講座「音楽家の引き出し、お見せします。」を開催しました。



当日の様子

講師に大口俊輔さんをお迎えしてプロの音楽家の創作過程に解剖学的に迫る講座を開催しました。会場には機材が並び、まるで実際の制作現場に入り込んだような雰囲気。大口さんが手掛けたキヌヤの動画「SUPER HELPER EBISU」制作秘話では、益田工房の洪昌督さんをゲストに音楽と映像制作の裏話も聞き、あつという間の3時間でした!

ご来館の皆様へ

新型コロナウイルス感染症
感染拡大防止のため
ご協力をお願いいたします。

- ◎マスク等の着用
- ◎美術館・公演会場などへ入場前の検温・手指消毒
※37.5度以上のお客様は、ご入場をご遠慮いただく場合があります。
- ◎緊急連絡先などのご記入

発熱、咳等の症状のある方、体調不良の方、過去2週間以内に感染が引き続き拡大している国や地域への訪問歴のある方は、ご来館をお控えください。

INFORMATION

■開館(利用)時間
※グラントワは8:45から開館
石見美術館 9:30~18:00
(展示室への入場は開館30分前まで)
いわみ芸術劇場 9:00~22:00

■休館日(祝日の場合開館、翌平日休館)
※催しに合わせて休館日を変更する場合があります。
石見美術館 毎週火曜日、年末年始、12/29
いわみ芸術劇場 第2・第4火曜日、年末年始
※年末年始:12/30~1/3



交通案内
◎石見交通バス「グラントワ前」下車徒歩1分
◎JR益田駅から徒歩15分
◎駅・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
◎浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
◎JR新山山口駅から益田駅まで特急約90分

グラントワ Grand Toit

島根県芸術文化センター「グラントワ」
〒698-0022 益田市有明町5-15
TEL: 0856-31-1860(代表)
FAX: 0856-31-1884(代表)
e-mail: zaidan@grandtoit.jp

www.grandtoit.jp

大ホール・小ホールは
2023年4月末(予定)まで休館中
石見美術館、多目的ギャラリー、スタジオ1・2、中庭広場は、通常どおりご利用いただけます。



読者プレゼント

石見美術館 企画展
「交歓するモダン
機能と装飾のポリフォニー」
招待券をペア10組様に
プレゼント!

毎号抽選でチケットやオリジナルグッズなどをプレゼントします。ぜひご応募ください!

■申込方法 ご希望の方は、住所・氏名・年齢・電話番号・e-mail等の連絡先、本号の「Grand Toit News」の感想をご記入の上、8月31日(水)までにハガキ(当日消印有効)・FAX・e-mailのいずれかでご応募ください。【あて先】〒698-0022 益田市有明町5-15 島根県芸術文化センター「グラントワ」『Grand Toit News vol.71 読者プレゼント』係・FAX: 0856-31-1884・e-mail: present@grandtoit.jp ※当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

グラントワ通への道

Q. 回廊やトイレの照明が明るくなったような気がしますが、気のせいでしょうか?

A. はい、明るくなりました!グラントワでは、館内照明のLED化を進めています。これまで使っていた照明よりも消費電力は少なく高寿命となり、高い天井が多いグラントワでは球切れ交換の負担も大幅に減ります。また、CO₂削減効果による地球温暖化防止にも貢献します。



オーナーシェフが腕によりをかけて創るこだわりの料理をお愉しみください。

「しまねプレミアム飲食券」ご利用可!
詳しくは「しまねプレミアム飲食券」キャンペーンページをご覧ください。 www.shimane-inshokuken.jp

Restaurant Pony
営業時間 / 11:00~22:00
※イベントにより変更あり夜は予約のみ
店休日 / 不定休
TEL / 0856-31-1873
www.restaurant-pony.com/

心弾むようなグッズを取り揃えております。

ミュージアムグッズ、美術・アートを中心とした様々な書籍、ポストカード、ステーションナリーグッズ、石見神楽グッズや益田市の名産品など、たくさんの商品を販売しています。ぜひ、お好きな商品を手にとって、ゆったりとご覧ください。

交歓するモダン機能と装飾のポリフォニー 期間限定販売
9月17日(土) - 11月28日(月)

企画展「交歓するモダン機能と装飾のポリフォニー」にちなんだ関連グッズを期間限定で販売いたします。展覧会とあわせてお楽しみください。

MUSEUM SHOP con amore
営業時間 / 9:30~17:00
店休日 / 毎週火曜日
TEL: 0856-31-1874
www.grandtoit.jp/shop/

石見美術館 ミュージアム パスポート

一般(税込) 3,000円
大学生(税込) 1,800円
小中高生(税込) 900円

石見美術館の企画展とコレクション展を何度でもご覧いただける年間観覧券です。

特典
●提携美術館®の観覧料割引
※県内外18施設(2022年2月現在)
●グラントワ提携店での優待サービス
●「石見美術館ニュースレター」等のお届け
●更新後の有効期間を一カ月間延長!

グラントワ提携店をご存知ですか?

グラントワ会員の特典として、グラントワ提携店(全30店舗:2022年4月現在)での優待サービスを受けられます。商品や食事の割引、プレゼントなど、提携店ごとに異なる様々なサービスをご用意しています。ご利用方法は、店頭で会員カードを提示するだけ。ぜひ、お得がいっぱいのグラントワ提携店へお出かけください!

提携店の場所や詳しい内容は、WEBサイトでチェック!
www.grandtoit.jp/tieup/shop.html

Facebook やってます!

「石見美術館」で開催されるバラエティ豊かな展覧会や「いわみ芸術劇場」で開催されるオペラ、コンサート、映画などの情報ははじめ「グラントワ」で行われる様々なイベントや耳より情報をいち早くお届けします。

www.facebook.com/grandtoit.jp

いわみ芸術劇場 大ホール・小ホール 耐震改修工事のお知らせ

国の最新の基準を満たし、大規模な地震に対してお客様の安全を確保するため、いわみ芸術劇場大ホール・小ホールの客席および大ホールホワイエ天井の耐震改修工事を行います。ご迷惑やご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い致します。

工事期間 現在工事中~ 2023年4月末まで

※工事期間は予定です。工事状況は各事情により変更になる場合があります。 ※工事の状況によっては、その他のエリアについても短期間の利用休止になる場合があります。 ※最新情報ほか、詳しくはグラントワホームページ等でお知らせします。